



沓掛小学校だより

1月号

未来を拓く ～元気・やさしさ・かがやく瞳～

NO. 585

<http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou>

最初の一步を踏み出し、努力を続ける人間に

校長 師岡 孝明

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。保護者・地域の皆様におかれましては、平成30年の新年を家族団欒の中、清々しい気持ちでお迎えのことと存じます。昨年は本校の教育に御理解と御協力を賜りましたことに御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

ここ数年私は、正月の楽しみとして1日に開催されるニューイヤー駅伝。そして、2・3日に行われる箱根駅伝を見ています。この「駅伝」という競技ですが、実は日本で生まれた競技で、さらに現在においても日本でしか行われていない競技だそうです。今年の箱根駅伝でも様々なドラマが生まれました。

私は走るのが好きで、休みのときに家の周りを走ったり、大会にも出場したりしています。特に元日は一年の始まりですから、ここ数年必ず走るようにしています。「一年の計は元旦にあり」です。しかし暖かい家の中から寒い外に出て行くのは大変な覚悟がいります。気持ちを奮い立たせないことには走り出せません。走り出すときに「楽しいな。」とか「嬉しいな。」などと考えることはまずありません。「今日は寒いから少しだけにしよう。」などといつも後ろ向きの考えが頭を占めています。しかし時間が経つにつれ、走るスピードも上がってきて心地よい汗をかいてくると、先程まで頭を占めていた後ろ向きの考えがなくなっているのです。

車や電車などでもそうですが、動き始めは最も力が必要なのです。動き出すまでが大変です。やらなければいけないことと分かっているけれど、あまりやりたくないことだったり、今までとは違う方法であったり、まったく新しいものであったりすればなおさらのこと、気持ちをしっかりと

おかないといけません。動き出しさえすれば、やり始めてさえしまえば、あとは楽になります。

今年のめあてや目標を考える時期ですが、考えて終わりではなく実行に移さなければいけません。そのときに、動き出しさえすれば、あとは楽になると信じて最初の一步を踏み出して動き出しましょう。

本日の始業式で全校児童を前に「夢や目標に近づくために大切なこと。」について話しました。将来の夢や目標などの願望を叶えるためには、まず今年一年間のめあてをしっかりとつことがとても大切であると思っています。そしてこの一年間のめあてを達成するために、めあてに向かって毎日毎日の努力を積み重ねていくことを続けてほしいのです。これは山登りに例えるとわかりやすいかと思います。山頂という夢や目標に向かって、一步一步努力を積み重ねていかなければ、到底山頂にたどり着くことはできません。あきらめずに努力を続けることが一番難しいのかもしれませんが、ですから毎日の努力はあまり高すぎず「頑張ればできるはず。」くらいがちょうどいいかと思います。

夢や目標は掲げるだけのものではなく、叶えるためのものです。夢や目標を掲げ、それに向かってビジョンを描き努力を続けることで一步一步近づいていきます。結果として夢や目標が達成できなかったとしても、続けてきた努力は無駄にはなりません。沓掛小学校に集う児童一人一人が、自分の夢や目標をもち、それを叶えるために努力を続けられる人間になってほしいと思っています。

新しい一年が始まりましたが、学校では「年度」のまとめの時期でもあります。3学期という年度の最後をしっかりとまとめることによって、次の年度のスタートへとつなげていきたいと考えています。